

すべく、

部員が主軸とな

ー 決勝戦を応援

をかけたラグビ 年岡山国体出場 ですが、

昭 和 37

在していたよう

甦ります。 旧来

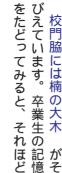
懐かしい日が

より応援団は存

take a walk in my alma mater



物語の特集記事を載せましたが、読んでいただけましたか。 しゃるのではないでしょうか。 下さい。



ちます。 識の中にも、ご神木のような かに、私たち昭和39年卒の意 とその他にも楠の多さが目立 ありません。 校内を散策する 校門脇の楠の印象はほとんど 一般は古くないようです。 朝日高のシンボルと

34 年 卒、 これは、

本校旧職員) の書に 曽我英丘先生 (昭和 ある門標

が目に入ります。

まず校門前に立つと、

風格

なるものです。

です。 いるのは興味深い風景 木が校門脇に鎮座して も云えるほどの楠の大

大木といえば自転車

の木 、柔道場前の銀杏の木置き場に沿って林立する銀杏 共に外すこ

館の横には、 とはできませ あったとか? 売って部費の足 この銀杏の実を ん。往時には、 しにしたことも 鉄柵窓の資料

された六高菊桜

です。「中

木もあります。

山陽新聞

旧制六高の名が冠せられた

06/5/12夕刊) にも紹介

h

記憶は消えることはありませ

ましく、潔く応援し、戦っ



かれた部室。

應援團」と書





窓会公式サイトより 世に消失したとされていた種 の名がついた 花を咲かせるようになってこ を六高の教授が発見、六高で 校内を散策して特筆すべき 朝日高校同

出場は成りませんでした その時のラグビー の国体 しました。 残念ながら

皆が、

雄々しく、

勇

4

って新たに応援団を結成

Ιţ に超える幾つもの碑や像 定できませんが10基をはるか 石碑の多さです。 数は特 が